道徳通信

小方学園
道徳通信
令和５年１２月
担当　道徳教育推進リーダー　西

２学期も残り少なくなってきましたね。ご存知の方もおられると思いますが，小学校では来年度（中学校は再来年度）から教科書が変わります。道徳科は，今年度までと同じ教科書「小学道徳　生きる力」（日本文教出版）ですが，教材の配列や内容が一部変更されています。小方学園の道徳教育で重点を置いている「思いやり」についても新たな教材が入っているので，その中の１つを紹介します。

「やさしさのバトン」（３年）

あらすじ

目の不自由な主人公が，ある日バス停で，女の子に「バスが来ましたよ。」と声をかけられました。それから，女の子は毎日声をかけ助けてくれました。その子の卒業後も，引き継いだわけでもないけれど，それを見ていた同じ学校の別の子たちが声をかけ続けました。「最初は不安だったバスの通勤が，楽しい時間になった。」と笑顔で話す主人公。支え続けた子どもたちも笑顔です。

ねらい

思いやりの心は，バトンのようにつながり，みんなを笑顔にすることに気づき，進んで親切にしようとする気持ちを育てる。

子どもたちの「思いやり」の心を育み，望ましい人間関係を築くことができるよう，これからも，道徳科の時間だけでなく，学校の教育活動全体を通して指導していきたいと思います。

広島県教育委員会ホームページの「豊かな心を育てる道徳教育コーナー」では，子どもたちの豊かな心，特に道徳性を育むために学校・家庭・地域が一体となり県民ぐるみで道徳教育を推進する気運の醸成を目指し，さまざまな情報を発信しています。各ご家庭でもぜひご覧ください。

「さしすせそ」の褒め言葉

さ：「さすが！」
し：「上手！」
す：「すごい！」
せ：「正解！」「成長したね！」
そ：「そうだね！」「その通り！」

子どもは褒められることが大すきです。中でもお母さんお父さんから褒められるのは格別です。子どもたちを褒めて，その可能性をもっと伸ばしてみませんか？

「どのように褒めたらよいの？」と思ったら，「『さしすせそ』の褒め言葉」を使ってみてください。使うときには，さらに「何がどのようにすごいのか」を具体的に言ってあげることがポイントです。

たくさん褒めて，認めて，自信をもてる子どもに育てていきましょう。